

# 負けてはいられない!

## コロナに挑戦 あの手 この手

新型コロナによく似ているというスペイン風邪は、1918 年から 1920 年にかけて猛威を振りました。世界人口の 1/3 が感染、日本でも 45 万人の死者を出したとされます。終息までに 2 年かかり、大きく 3 つの流行の波があったようです。当時もウイルスが変異したり、それが他の地域から持ち込まれたり、移動・密集・接触の多い場が流行の拠点になりました。(参考「感染症の日本史」磯田道史 著)

新型コロナもかれこれ 2 年。ワクチン接種も進んでいることから、早く終息宣言を聞きたいものですが、指をくわえて待ってばかりもいられない。そして山口氏のめげない挑戦は、この時期の活動の参考に又意欲喚起につながります。



第 42 号  
発行  
筑波山がまの油売り口上研究会

### コロナ対策 飛沫防止グッズ3題

コロナの猛威は未だ収束の兆しが見えず、緊急事態宣言が解除されてもしばらくの間は、がま口上を演じるのに飛沫防止の対策が必須とされます。ここでは最近使用した代表的な 3 種類の対策グッズの使用感を報告します。以下はすべて安心・安全な場所での口演で、見解はあくまで個人的なものです。ご参考まで。

#### ① マスク

顔との密着感があり、かなり大きなアクションでも口からズレません。しかしどうしてもマスクで声が籠るので、屋外での口演ではマイクを通さないと声が遠くまで届きにくいようです。



土浦市栗原「邑マルシェ&ギャラリー」のステージにて (4 月 10 日) 古民家を活用したマルシェで、毎月第 2 土曜日に開催されています (現在は休止)。日本庭園でのステージでは、ジャズや昭和歌謡、演劇、演芸などとともに「がまの油売り口上」も定番。

#### ② フェイスシールド

マスクよりは口まわりの開放感があつて声を出しやすいものの、仮面を被っているようで、見た目にも違和感があります。しかし顔にフィットして、安心感があります。



道の駅「グランテラス筑西」のイベントにて (6 月 12 日) 大ステージではなく「渡り廊下デッキ下」ステージ。しかし筑波山を背景にがま口上、最高のロケーションです。

#### ③ マウスシールド

五月十五日のがま研総会で配布されたものです。フェイスシールドより小さく、見た目の違和感はあるのですが、アゴに押し当てて装着するため、声とアクションが大きいとズレやすく、屋外での口演には向いていないかも?



土浦市亀城公園「つちうら駄菓子屋楽校」のステージにて (5 月 15 日) 年に数回開催されているイベント。家族連れの方が多く集まり、がま口上は子供にも大人気です!

では皆様、この難局を乗り越えて、また元気に活躍しましょう!  
(山口 陽弘)

「コロナ禍中のネモフィラでデビューして

小松山 敏

んだ『余生の生き方』という本の三大重要項目は、①何時でもどんなことでも良いから一旗揚げる気で何かに取り組め！②人に迷惑をかけるな！③延命治療は受けるな！であり、①のボケ防止にもなるかなと思っただのが受講理由だった。

一回受講後、海浜公園「ユキア」で水戸教室が実演すると聞き、本物を見た。面白く興味が持て、私にもできそうだと思いい、翌年一月に入門した。

早速阿弥陀寺で月一回の稽古が始まった。口上を暗記するのが中々うまく行かず、しかも腰痛や所用で休むこともしばしばあった。

東日本大震災で浪江での勤務が無くなり無職となった。この頃から腰痛がひどく、特にスーパールのレジ待ちなどの棒立ちが苦痛。歩行はジワリジワリと鈍い痛みが蓄積し我慢できず、前屈みにしやがみ腰を伸ばす、するとストンと痛みが消える。歩く、痛む、前屈み、の繰り返し、これを「間欠性跛行」と言うそうだ。整形外科で検査の結果、初期の「脊柱管狭窄症」と診断された。飲み薬で経過観察となったが一向に改善の兆しなが無かった。「脊柱管狭窄症は自分で治せる」と言う本によると、まずは体をこまめに動かすことだとなる。

幸い正座、椅子に座る、自転車や車の運転は全く問題ない。そこでロードバイクを購入し、一般道は危ないので車に自転車を積み、つくばりりん、久慈川サイクル、鬼怒川、霞ヶ浦等の専用ロードに出かけた。更に基本的には十分なストレッチとウォーキングだ。ウォーキングは、歩数ではなくフォームが重要で、踵から蹴りだしているか？腕は小指で風を切るようにしっかりと振っているか？

視線は地面と平行に、蹴り返しは母趾球でしっかりと蹴り返しているか？上体がぶれていないか？細かい項目をチェックし距離と速度を決めて記録している。

そんな平成二十九年秋に新聞で「筑波山ガマの油売り講座」受講生募集を見た。時間はタツプリあるし、興味もあったので申し込んだ。以前に読

本堂前、四十人ほどの



阿弥陀寺本堂前

天候もよく阿弥陀寺

阿弥陀寺本堂前、四十人ほどの

観客、応援団(?)の前で演じることに。フル装備で、しかも一般の人前でやるのは初めてであったがどうにかデビューすることが出来た。皆様のご指導ご協力で感謝申し上げます。幸い動画投稿があり、再生して見ると反省点多々有りでした。

若い頃は頻りに業務報告をさせられ、人前での発表そのものは特に問題なく嫌でもなかった。上司からは丸暗記はダメだ、この図表では何をどう説明するかを頭に入れストーリーを叩き込めと言われたものだ。そう言う訳で丸暗記の習慣がなかったこともあるが、どうにか全編暗記が出来た。

そして問題の紙切りテクニックは、尾形先輩の特訓、日立市のカラオケ店で一曲も歌わず三時間教わったが難しかった。刀、袴や小物、鉢巻きやタスキなども山仲間

新型コロナ渦中、私のためのデビュー審査会を開催して頂いた。

お馴染みの山仲間も。初口上はこれまた反省点が多々あったが、どうにか演じることが出来、正直ホッとした。大勢の人前で演じることは実に楽しく張り合

口上のコンセプトは私なりに、言葉巧みに、いい加減なことを、面白おかしくテンポ良く、そして聴衆の反応を見ながら適当なアドリブ、ギャグで見ている人を楽しませることだと思っ



海浜公園古民家前

さて、腰痛対策はウォーキング主体で、最近はその「六ツ野スポーツの杜」一周1kmを6〜8周している。その甲斐があつてか最近は何となく山登りで、よくそこまで回復したと言われ弾みがついている。前出の②人に迷惑をかけるのではない、他人は言うに及ばず、二十年前に家内を亡くし二人の息子達は高校卒業と同時に県外へ出て以後独居生活。そんな訳で動けなくなつて介護されながら長生きしたら息子達に多大な迷惑を掛けるばかりか晩節を汚すのが耐えられないので、ボケないで③延命処置を受けず「ぴんぴんころり(PPKI)が目標(?)」だ。

入会して有難いことは、皆さんとの素晴らしい出会いだ。振り返ってみると、交友関係はどうしても以前の仕事や地域の関係が多く話題も広がらず、年と共に速いペースで交友関係は縮小していく。これもPPK達成の大きな障害だ。

最後に私の口上を見た仲間が「オメエ、会津の出だろう、袴・タスキ・鉢巻き・刀まで揃っているんだから今度は白虎隊をやれ!」「ガマの油売りは腕切つて済むが白虎隊は切腹するから出来ねーよ!」・・・お粗末! 今後も、口上に磨きをかけて行く所存です。どうかご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

がま研のホームページ進化中!  
是非お気に入り登録をお願いします。

<http://gamaken.wp.xdomain.jp/>



## 両手いっぱいのボランティア

～今どきの結婚事情♡～

淀縄 光子

私の住む県西地方は、筑波山の西麓に位置し、肥沃な水田地帯が広がる緑豊かな自然に恵まれた地域です。生まれた旧筑波町北条では朝日の筑波山、緑の筑波山、紫の筑波山を朝

な夕なに見て育ちました。

この自然豊かな県西地方においても全国的にも、少子高齢化・未婚晩婚化は社会問題、特に農村部などで深刻な問題となっています。

現役時代には到底叶わなかった退職後の「時間」を、あれもやりたい、これもやりたいとガムシヤラに挑戦。大好きいばらき県民会議マイスター・国際交流外国人のための日本語教室講師・茨城県生涯スポーツ指導員・いばらきニュースポーツ協会では、高齢者に適したニュースポーツの普及発展・シルバリーハビリ体操指導士・小学校へ読み聞かせ出前講座・がま口上・等々です。

今、私が一番打ち込んでいるのは、いばらきマリッジサポーター(結婚相談員)です。

平成十八年八月三十一日、県知事より委嘱された「いばらきマリッジサポーター県西活動協議会」県西地区七市三町、桜川市から古河市まで。特に、桜川市・筑西市は、消滅可能性のある街とされています。

そこで、桜川市・筑西市・結城市の三市で「結婚支援 赤い糸」を平成二十七年六月、十四名で

結成しました。出会いを求めて、年3回〜4回の婚活パーティ、二カ月に一回の結活相談会、個人的な相談と「初めから100%の相手はいない、泣いて笑ってケンカして、だんだん夫婦になつていく」と等と謳い文句で相談していますが、少子化・未婚化には歯止めがかりません。私達が結婚した頃は、未婚の男性は、社会的にも一人前の人間と認められないと、云われていましたが現在は男女ともに立派に活躍している方も沢山あります。が、人間として生まれたからは、結婚をして、子を産み、育て、人として普通に生きることが、私達マリッジサポーターの最大の願いです。

一昔前は、女性の結婚適齢期はクリスマス前、二十五歳までに結婚しないと、嫁に貰い手がない等と云われていました。結婚適齢期とは、恋愛結婚は別にして、現在は男性の平均初婚年齢三十六歳、女性の平均初婚年齢三十二歳、結婚年齢が男女ともに高くなっています。

日本の少子化・未婚化の現状、「男性の四人に一人、女性の六人に一人」が生涯独身の時代です。未婚者の九割が「いざれ結婚するつもり」ですが、結婚しない理由は、「仕事が忙しい」「出会えない」「チャンスがない」「家庭を持つより一人が気楽で良い」云々。

親御さんは、自分の息子、娘さんに結婚してもらいたいのには、親の心、子知らずで、子供を持つてみないとわかりません。親と子供の価値観が違いますが、私達おせっかいおばさんが声を大にして、「まずは結婚しましょう、家族つて良いよ」結婚してからは「楽」なことばかりではありません。「楽しい」「ことは何倍にもなります、それが「家族」です。

# 一体の仁王像は今いずこに・・・

佐藤 貞弘

昔あったあれは今どうなっているのだろうか。筑波山に関連するものを中心に軽く紹介します。

一六三三年(寛永一〇年)徳川三代将軍家光により建立された知足院中禅寺は、本堂(大御堂・千手堂)を中心に多くの堂社が立ち並び一大観光地として賑わっていたが、江戸時代から明治時代への転換期に廃仏毀釈の影響を強く受け、大御堂や堂社、多くの仏像が焼き捨てられたという。

その後大御堂の跡地には一八七五年(明治八年)に筑波山神社拝殿が建立された。境内には江戸時代からの建物と自然が多く残されており、年間約二百五十万人という筑波山観光の中心として大勢の参拝者・登山者等で賑わっている。

大御堂の段下には同



筑波山下画図より

時代に建立された仁王門(二王楼門)があり寺号額「中禅寺」が掲げられていたが現在では残された建物に神額「筑波山神社」が掲げられている。楼門の左側に倭建命(ヤマトタケルノミコト)、右側には豊木入日子命(トヨキイリヒコノミコト)の像がある。

随神門(仁王門)は大御堂と同時期に建立、二度

の消失で現在の建物は一八二一年(文化八年)に再建されたものである。さて、ここにあった仁王像(金剛力士像は今どうなっているのだろうか。

明治の廃仏毀釈で撤去された2体の仁王像は東福寺(真言宗豊山派、つくば市松塚六六五)に移された。この仁王像は桜川で流されたことから別名「流れ仁王」と言われている。仏教を守護するその形相はさまざま、しかも腕や脚の筋肉の筋や血管など細部まで表現されており相手を圧倒する勇ましい姿は、時の流れを超えて今も強く問いかけてくるようである。鎌倉大仏師「慶海」の作。東福寺(松塚)は旧桜川の東方にあり桜川に接した静かな田園地帯にあります。



金剛力士像・阿形←・吽形→



コロナにおける収束と終息の違いって？



収束・・・ほぼ事態が収まってきた場合  
終息・・・すっかり終わる、完全制圧



東福寺楼門

慣れたというか、飽きたというか、自粛も日常になった昨今です。多くの会員方はワクチン接種も終えて、活動の再開を期しておられることでしょう。半年ごとにお届けするはずのかわら版も、お寄せいただいた玉稿により一年ぶりに、どうにかお届けできました。

## 編集後記

身近な話題やお勧めの場所・物でも大歓迎！次号の原稿は二月末までにご投稿いただければ嬉しく思います。手書き・郵送(田神苑)・メールなど、どんな形式でも大丈夫です。

メール投稿先

編集子

tgod6474@i-next.ne.jp

## お知らせ

コロナ感染状況は未だ予断を許さず、残念ですが今年度の全ての事業を中止といたします。

- がまの油売り口上講座
- 歴史探訪会
- 忘年会

